

令和元年度の主な事業を報告します

安全が確保され、安心して快適に暮らせるまち

橋梁点検の実施(4030万円)

橋梁長寿命化計画に基づき、老朽度や劣化度等を客観的に把握するため、橋梁点検を実施しました。

木田排水機場調整池の整備(462万円)

木田駅周辺の浸水被害の軽減に向けた木田排水機場調整池の拡張工事の設計を行いました。

上萱津排水機場の排水路整備(7035万円)

上萱津排水機場のポンプ能力を最大限に発揮させるため、排水路の改修を行いました。



橋梁点検の様子

心身ともに健康で、いきいきと暮らせるまち

骨髄移植ドナー等助成金(21万円)

日本骨髄バンクを介して骨髄、または末梢血幹細胞の提供を行った骨髄提供者(ドナー)及びドナーが勤務する事業所に対して助成金を交付しました。

ひとり親家庭の子どもの生活・学習支援事業の拡充(201万円)

ひとり親家庭の中学生を対象とした学習支援事業の開催場所として、新たに七宝児童館を追加し、定員を拡充しました。

あま市民病院を指定管理へ移行(2億6023万円)

抜本的な経営改革を行い、今後も地域医療の拠点として良質な医療を提供していくため、平成31年4月1日から指定管理者による運用が始まりました。



新学校給食センターでの調理の様子

郷土に誇りと愛着が持てる、魅力あるまち

新学校給食センターの建設(17億2221万円)

小中学校及び保育園に、より安全で安心な給食を提供するため、新学校給食センターを建設し、令和元年9月から供用開始しました。また、機能集約に伴い、稼働終了となる旧3センターの解体設計を実施しました。

市内小中学校へのエアコン設置(10億2865万円)

災害レベルの猛暑への対策として、学習環境を改善するため、小中学校の普通教室等に空調設備を整備しました。

自らの力で歩み続ける、活力のあるまち

新庁舎の建設(1億0159万円)

令和5年5月開庁に向け、コンストラクションマネジメントの効果を踏まえた実施設計及び関連工事を実施しました。

低所得者・子育て世帯向けプレミアム付商品券の発行(1億4949万円)

消費税率の引き上げに伴う低所得者及び子育て世帯の生活に与える影響を緩和するとともに、地域における消費を喚起するため、プレミアム付商品券を発行しました。



エアコン設置された教室